

第2次香南市男女共同参画推進
実施計画

令和7年度（2025年度）版

香南市

1 男女共同参画社会を目指す意識づくり				
(1) アンコンシャス・バイアスを解消する				
取組の方向性	個表番号	各課の取組	担当課	ページ
①意識改革と社会制度・慣行の見直し	1	広報誌やホームページなどによる広報・啓発を行う。	人権課	5
	2	国、県などの動向や法律などの情報を収集し広報・啓発を行う。	人権課	
	3	男女共同参画をテーマとした講演会を開催する。	人権課	
	4	職員に対して、こうち男女共同参画センター「ソーレ」等が主催する研修会への積極的な参加を促し、意識向上を図る。	人権課	6
	5	関係団体と連携した広報・啓発活動を実施する。	人権課	
	6	男女共同参画を阻害する諸制度や慣行の見直しに向けた講演会などを実施する。	人権課	
②メディアにおける男女共同参画の推進	7	市が発行する刊行物において、男女共同参画の視点に立った表現の普及を図る。	人権課	7
	8	広報誌「こうなんNOW」編集の際、男女共同参画の視点に立った表現を心がける。	総務課	
(2) さまざまな場での意識を変える				
①家庭における男女共同参画の推進	9	家庭におけるよりよいパートナーシップについての啓発を図る。	人権課	8
	10	毎月の園だよりで「家庭の日」の周知を行う。	こども課	
	11	パパママ教室を開催する。	健康対策課	
②学びの場での男女共同参画教育の推進	12	就学前の保護者に対する子育て・親育て講演会を実施する。	こども課	9
	13	固定的な性別役割分担意識にとらわれない男女の人権を尊重する教育を推進する。	学校教育課	
	14	各中学校で思春期保健事業を実施する。	健康対策課	
③働く場での意識啓発	15	企業などにおいてハラスメントを防止する研修会などを推進する。	人権課	10
	16	イベントにおいてハラスメントに関する啓発活動を推進する。	人権課	
	17	企業訪問時に、働きやすい職場の環境づくりの推進に向けて働きかけを行う。	商工観光課	

(3) あらゆる暴力を根絶する【DV防止基本計画】

取組の方向性	個表番号	各課の取組	担当課	ページ
①暴力を許さない意識の醸成	18	暴力根絶のため人権啓発フェスティバル、人権週間に合わせて啓発パネルの展示や冊子の配布を行う。	人権課	11
	19	児童虐待及び通告に関する周知啓発に取り組む。	福祉事務所	
	20	デートDV防止活動として、広報誌への啓発記事掲載などを行う。また、城山高校の生徒に対しDV防止冊子「それってラブラブ？」を配布する。	人権課	
②DVやハラスメント相談・支援体制の充実	21	研修会等に積極的に参加して職員のスキルアップを図り、相談支援の充実に取り組む。	人権課	12
	22	児童相談所や女性相談支援センター、警察など関係機関と連携を取りながら被害者からの相談、保護に取り組む。	福祉事務所	
	23	被害者の自立に向け、関係課や警察、女性相談支援センター、児童相談所など関係機関と連携を図り支援する。	人権課	
	24	関係課や女性相談支援センター、警察など関係機関と連携を密にし、支援の充実を図る。	人権課	13
	25	職場のトラブル（解雇、パワハラなど）の無料労働相談会などの開催について広報誌に掲載する。	商工観光課	
	26	ハラスメント防止研修の実施及び相談体制の充実を図る。	総務課	
	27	香南市要保護児童対策地域協議会において、関係機関との連携や支援の充実を図る。	福祉事務所	
				14

2 男女がともに活躍する環境づくり【女性活躍推進基本計画】				
(1) 働く場における女性活躍を推進する				
取組の方向性	個表番号	各課の取組	担当課	ページ
①多様なニーズに応じた就労支援	28	ハローワークの求人情報の提供及び市民館の相談支援での女性の就職に対する支援を行う。	人権課	15
	29	就職に関する情報提供を行うとともに企業説明会や面接会を開催し、女性の就職につなげる。	商工観光課	
②女性の再就職支援、起業支援	30	ハローワークの求人情報の提供及び市民館の相談支援での女性の再就職に対する支援を行う。	人権課	16
	31	関係機関と連携し、再就職に関する企業情報及び再就職支援イベントの情報発信を行う。	商工観光課	
③職場における男女の均等な雇用機会と待遇の確保	32	(再掲) 職場のトラブル(解雇、パワハラなど)の無料労働相談会などの開催について広報誌に掲載する。	商工観光課	16
	33	企業訪問時や企業交流会等の機会を通じて、働きやすい職場環境づくりの啓発に取り組む。	商工観光課	
(2) 意思決定の場への女性参画を促進する				
①各委員会等への女性の参画促進	34	所管する各審議会・委員会における女性委員の登用割合を30%になるよう推進する。	人権課	17
(3) ワーク・ライフ・バランスを実現する				
①ワーク・ライフ・バランスの理解促進	35	「香南市特定事業主行動計画」に基づき出産・子育てのしやすい、ワーク・ライフ・バランスを実現できる職場環境の形成等に取り組む。	総務課	18
②子育て・介護支援の充実	36	介護サービスなど支援の充実を図る。	高齢者介護課	
	37	障害者・障害児福祉サービスなど支援の充実を図る。	福祉事務所	
	38	子育てに関する相談や交流の場の提供及び子育て関連の情報を提供する。	こども課	19
	39	保育施設の受け入れ枠の拡大や低年齢児保育、病後児保育など、多様な保育サービスの提供に努める。	こども課	
	40	放課後児童クラブ及び放課後こども教室を実施する。	こども課	20
	41	家庭支援推進保育士を配置し、支援の必要な家庭の訪問などを実施する。	こども課	
42	ライフステージに合わせた各種料理教室などを開催する。	生涯学習課	21	

3 安心して多様な暮らし方ができるまちづくり				
(1) 地域における男女共同参画を推進する				
取組の方向性	個表番号	各課の取組	担当課	ページ
①地域活動への参画の促進	43	男女が共に地域活動への参画ができる機会を増やすため、自治会、協議会の全地区設立を目指す。	地域支援課 各支所	22
	44	環境監視員の人材確保も含め女性の参画を図りながら、監視パトロールを実施する。	環境対策課	
②防災分野での男女共同参画の拡大	45	自主防災組織等の活動において、女性の参画を推進する。	防災対策課	
(2) あらゆる人の安心を支える				
①貧困など困難を抱える人（ひとり親家庭等）への支援	46	児童扶養手当の支給及びひとり親家庭などに向けた医療費助成を実施する。	市民保険課	23
	47	ひとり親家庭自立支援事業費補助金や高知県母子父子寡婦福祉資金等の活用により、ひとり親家庭の自立支援に取り組みます。	福祉事務所	
②困難な状況におかれている女性への支援【困難女性支援基本計画】	48	公共施設のトイレで、相談窓口を掲載したカードを同封した生理用品（個包装）の無料配布を行う。	人権課	
③高齢者や障害のある人、外国人市民への支援	49	高齢者が健康で充実した生活を送ることができるよう、介護予防事業等の充実を図る。	高齢者介護課	24
	50	高齢者や家族の相談窓口の設置、高齢者世帯などの実態把握に努める。	高齢者介護課	
	51	いきいきクラブ事業や自主運動グループ、高齢者クラブなどを実施する。	高齢者介護課	25
	52	障害のある人が住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、各種福祉サービス等の充実を図る。	福祉事務所	
④性的少数者への支援	53	性の多様性に関する理解を深めるための講演会等を実施する。	人権課	26
	54	パートナーシップ宣誓制度の普及・啓発を行う。	人権課	
	55	性の多様性に関する職員研修を実施する。	人権課	
(3) 生涯を通じてからだところの健康を維持する				
①妊娠・出産における保健医療対策の充実	56	妊娠・出産における健康支援の充実を図る。	健康対策課	27
②適切な性教育の推進	57	小中学校における性教育などを推進する。	学校教育課	
③生涯にわたる健康の保持増進	58	特定健診とがん検診のセット検診を実施する。	健康対策課	28

基本目標		1 男女共同参画社会を目指す意識づくり		
推進方策	(1) アンコンシャス・バイアスを解消する			
取組の方向性	①意識改革と社会制度・慣行の見直し			
具体的な取組①	世界、国、県などの動向や法律などの情報を収集し、市広報誌やホームページなどによる広報・啓発を行います。			
個表番号 1	各課の取組	広報誌やホームページなどによる広報・啓発を行う。	課名 人権課	
	前年度 事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・6月の国の男女共同参画週間及び県の男女共同参画月間にあわせて、広報誌のお知らせページに男女共同参画について掲載した。 ・ホームページに香南市男女共同参画実施計画書を掲載した。 		
		成果	啓発活動により、男女共同参画の必要性を周知することができた。	
		課題	根強く残る性別役割分担意識の解消に向け、広報誌やホームページ等で情報提供を行うとともに、男女共同参画への理解促進や意識改革につながるよう継続的な啓発が必要がある。	
	達成度	A：概ね達成できた B：達成には至らないが取組中 C：未実施		
本年度計画	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 ・ <input type="checkbox"/> 統合 ・ <input type="checkbox"/> 拡充 ・ <input type="checkbox"/> 縮小 ・ <input type="checkbox"/> 廃止			
本年度 計画内容	<ul style="list-style-type: none"> ・講演会等を開催する際に啓発パネル展示、啓発冊子の配布を行いながら、広報誌の「じんけん通信」やお知らせコーナーで、男女共同参画について継続して情報発信を行う。 ・ホームページに内閣府などの男女共同参画に関するサイトや啓発資料を掲載したサイトのリンク集を作成することを検討する。 			
個表番号 2	各課の取組	国、県などの動向や法律などの情報を収集し広報・啓発を行う。	課名 人権課	
	前年度 事業実績	国や県などから依頼のあった男女共同参画に関するチラシや情報誌を配布し、情報発信を行った。		
		成果	情報誌等を本庁2階の情報コーナーや人権課に設置し、年間を通して情報発信できた。	
		課題	男女共同参画社会の実現に向けて、研修会やイベントを通じて国、県の動向や法律などの情報を継続して提供し、かつ参加者を増やす必要がある。	
	達成度	A：概ね達成できた B：達成には至らないが取組中 C：未実施		
本年度計画	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 ・ <input type="checkbox"/> 統合 ・ <input type="checkbox"/> 拡充 ・ <input type="checkbox"/> 縮小 ・ <input type="checkbox"/> 廃止			
本年度 計画内容	国や県などの男女共同参画の取組みに関する情報誌等の配布、研修会・講演会の広報誌掲載を行い、引き続き、取組みを推進する。			
具体的な取組②	男女共同参画をテーマとした講演会を開催するとともに、参加できなかった人に向けて可能な限り講演内容をケーブルテレビで放送するよう取り組みます。			
個表番号 3	各課の取組	男女共同参画をテーマとした講演会を開催する。	課名 人権課	
	前年度 事業実績	【ソーレ主催】令和6年度DV防止啓発講演会 のいちふれあいセンターにサテライト会場を開設した。 日時：令和6年11月9日（土） 演題：DVからの回復 ～再起する力を育むサポート・ケア支援～ 講師：宇治 和子さん（郡山女子大学短期大学部幼児教育学科 准教授）		
		成果	毎年行われるDV防止啓発講演会を香南市でサテライト会場を開設し、WEBによるライブ視聴を行ったが、原因不明の機材トラブルが発生したため、後日に配信されたオンデマンド配信にて視聴し、男女共同参画社会に向けた意識向上を図ることができた。	
		課題	根強く残る性別役割分担意識の解消に向けて講演会を実施し、広い年代の人々を対象に意識改革につなげていく必要がある。	
	達成度	A：概ね達成できた B：達成には至らないが取組中 C：未実施		
本年度計画	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 ・ <input type="checkbox"/> 統合 ・ <input type="checkbox"/> 拡充 ・ <input type="checkbox"/> 縮小 ・ <input type="checkbox"/> 廃止			
本年度 計画内容	<ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画をテーマとした講演会を継続して開催する。（サテライト会場での開催を含む。） ・講演会に参加できなかった方に向け、可能な限り講演内容を香南ケーブルテレビで放送するよう取組む。 			

具体的な取組③		市政において男女共同参画の視点に立った施策展開ができるよう、研修への積極的な参加など市職員の意識向上を図ります。また、地域における事業を計画・実行する町内会や自治会の代表者等についても、意識向上を図ります。			
個 表 番 号 4	各課の取組	職員に対して、こうち男女共同参画センター「ソーレ」等が主催する研修会への積極的な参加を促し、意識向上を図る。	課名	人権課	
	前年度事業実績	「ソーレ」主催の講演会やイベントについて、全職員に向けてグループウェアで情報提供した。 ・講演会：DVからの回復 ～再起する力を育むサポート・ケア支援～ ・講演会：当事者の声が届いた刑法改正と残された課題 ～性暴力被害者の心に春がくるように～			
		成果	これまで人権課や関係課の職員だけで回覧していた情報を、広く共有することができた。		
		課題	・職務以外の研修会や講演会は、自己研鑽の機会だが、参加する職員が少ない。 ・町内会や自治会の代表者等に対するの情報提供ができていない。		
	達成度	A：概ね達成できた B：達成には至らないが取組中 C：未実施			
本年度計画	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 ・ <input type="checkbox"/> 統合 ・ <input type="checkbox"/> 拡充 ・ <input type="checkbox"/> 縮小 ・ <input type="checkbox"/> 廃止				
本年度計画内容	・引き続き、男女共同参画をテーマとした研修会・講演会の情報提供を行い、特に職員の参加を促す。 ・町内会や自治会に対して、男女共同参画に関する出前講座の参加を募る。				

具体的な取組④		男女共同参画を阻害する慣行の見直しや改善に向けて、ポスター掲示やチラシの配布などの情報発信、法律や慣行の見直しに向けた講演会などを実施します。			
個 表 番 号 5	各課の取組	関係団体と連携した広報・啓発活動を実施する。	課名	人権課	
	前年度事業実績	・ソーレ主催の国際女性デーに関する講演会について、市のSNSとホームページにて広報した。 ・広報3月号にて、国際女性デーと国際男性デーについて掲載した。			
		成果	国際女性デーと国際男性デーについて周知することができた。		
		課題	広報を継続していく必要がある。		
	達成度	A：概ね達成できた B：達成には至らないが取組中 C：未実施			
本年度計画	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 ・ <input type="checkbox"/> 統合 ・ <input type="checkbox"/> 拡充 ・ <input type="checkbox"/> 縮小 ・ <input type="checkbox"/> 廃止				
本年度計画内容	引き続き、広報誌や市のSNS等で発信し、また、ソーレ主催の講演会についても周知を行う。				
個 表 番 号 6	各課の取組	男女共同参画を阻害する諸制度や慣行の見直しに向けた講演会などを実施する。	課名	人権課	
	前年度事業実績	香南いきいきセミナー（男女共同参画） 日時：令和6年10月13日（日） 演題：強く生きるためのヒント ～野々村友紀子が伝えたい 人生で大事なこと～ 講師：野々村 友紀子 氏（放送作家）			
		成果	講演会に460人が来場され、非常に多くの市民が男女共同参画について学ぶことができた。		
		課題	今後の講演会や研修会に活かすにあたり、アンケート結果等を参考にし、市民や職員が能動的に参加してくれるような講師選定やテーマを見極め、充実した内容の講演会や研修会を開催する必要がある。		
	達成度	A：概ね達成できた B：達成には至らないが取組中 C：未実施			
本年度計画	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 ・ <input type="checkbox"/> 統合 ・ <input type="checkbox"/> 拡充 ・ <input type="checkbox"/> 縮小 ・ <input type="checkbox"/> 廃止				
本年度計画内容	香南いきいきセミナーで男女共同参画に関する講演会を開催する。				

取組の方向性		②メディアにおける男女共同参画の推進		
具体的な取組①		各課発行の市刊行物における人権・男女共同参画の視点に立った表現の普及を図ります。		
個 表 番 号 7	各課の取組	市が発行する刊行物において、男女共同参画の視点に立った表現の普及を図る。	課名	人権課
	前年度 事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 各課が刊行物を作成、発行する際は男女共同参画の視点に配慮した表現に努めるよう、職員用パソコンの掲示板に、県ガイドライン「男女共同参画の視点に立った広報作成の手引き」～考えてみようその表現～を掲載する。 広報誌の表現において、なぜその色なのか、なぜその性別なのか、といった校正を行った。 		
		成果	<ul style="list-style-type: none"> 職員用パソコンの掲示板に掲載していたが、更新ができず、周知が行き届いていなかった。 読者にとって偏りなく伝わる表現にすることができた。 	
		課題	職員への周知が行き届くように、適宜更新を行う必要がある。	
	達成度	A：概ね達成できた B：達成には至らないが取り組み中 C：未実施		
本年度計画	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止			
本年度 計画内容	<ul style="list-style-type: none"> 県ガイドライン「男女共同参画の視点に立った広報作成の手引き」～考えてみようその表現～を引き続き、職員用パソコンの掲示板に掲載し、更新を行う。 引き続き、広報誌の表現に偏りがないように、様々な観点による校正を行う。 			

具体的な取組②		市広報誌「こうなんNOW」編集の際、男女共同参画の視点に立った表現を心がけます。		
個 表 番 号 8	各課の取組	広報誌「こうなんNOW」編集の際、男女共同参画の視点に立った表現を心がける。	課名	総務課
	前年度 事業実績	広報誌「こうなんNOW」編集の際、男女共同参画の視点に立った表現を心がけた。		
		成果	イラストや写真を使用する際に、男性や女性に対する固定的なイメージとならないよう心がけができた。	
		課題	色彩において、まだ一般的には「青＝男性」「赤やピンク＝女性」といったイメージが根強い部分がある。	
	達成度	A:概ね達成できた B:達成には至らないが取り組み中 C:未実施		
本年度計画	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止			
本年度 計画内容	継続して、男女共同参画の意識をもった表現に努める。			

推進方策	(2) さまざまな場での意識を変える			
取組の方向性	①家庭における男女共同参画の推進			
具体的な取組①	家庭におけるよりよいパートナーシップについての啓発を図るため、国の男女共同参画週間（毎年6月23～29日）、県の男女共同参画月間（毎年6月）や、講演会開催時に啓発冊子やリーフレットの配布等を行い、性別に関係なく家事や育児、介護への参加を促す取組を行います。			
個表番号 9	各課の取組	家庭におけるよりよいパートナーシップについての啓発を図る。	課名 人権課	
	前年度 事業実績	6月の、国の男女共同参画週間及び県の男女共同参画月間にあわせて、広報誌のお知らせページに男女共同参画について掲載した。		
		成果	イベントやホームページで男女共同参画について情報発信を行い、広くPRできた。	
		課題	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭の中で男女共同参画の意識が育まれるような取り組みを行う必要がある。 ・性別に関係なく家事や育児への参加を促す取り組みを行う必要がある。 	
		達成度	A:概ね達成できた B:達成には至らないが取り組み中 C:未実施	
	本年度計画	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 ・ <input type="checkbox"/> 統合 ・ <input type="checkbox"/> 拡充 ・ <input type="checkbox"/> 縮小 ・ <input type="checkbox"/> 廃止		
本年度計画内容	<ul style="list-style-type: none"> ・啓発記事の広報誌掲載、講演会開催時に啓発冊子やリーフレットの配布等を行い、広く理解の促進を行う。 ・国や県の男女共同参画期間に合わせ、香南ケーブルテレビに文字放送を依頼する。 			

具体的な取組②	保育所等において、「家庭の日」の推進や男性の子育てなど、家庭生活への参画を促進します。			
個表番号 10	各課の取組	毎月の園だよりで「家庭の日」の周知を行う。	課名 こども課	
	前年度 事業実績	園だよりで「家庭の日」の周知を行った。		
		成果	子どもや家庭から、家族で過ごしたことや一緒に食事をしたことなどの話を聞くことができた。「家庭の日」の意義についての理解につなげることができている。	
		課題	各家庭の具体的な取り組み内容を把握することは難しい。	
		達成度	A:概ね達成できた B:達成には至らないが取り組み中 C:未実施	
	本年度計画	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 ・ <input type="checkbox"/> 統合 ・ <input type="checkbox"/> 拡充 ・ <input type="checkbox"/> 縮小 ・ <input type="checkbox"/> 廃止		
本年度計画内容	園だよりで「家庭の日」の周知を継続的に行う。			

具体的な取組③	パパママ教室において、栄養士等の専門職による講話を実施するなど、妊婦や家族が、妊娠～出産～子育てについて具体的なイメージができ、不安や心配事の軽減、夫婦での子育てを促すための取組を行います。			
個表番号 11	各課の取組	パパママ教室を開催する。	課名 健康対策課	
	前年度 事業実績	事業内容：助産師・栄養士・保健師がスタッフとなり講話や体験を実施 講話内容：①妊娠期～授乳期の栄養 ②出産準備・産後の生活 ③出産前後の身体の変化 ④沐浴・オムツ交換・抱っこ・妊婦の疑似体験 実施状況：定員10組/回で計6回（土日と平日）実施。教室日に参加できなかった希望者に関しては、教室日以外で、地区担当保健師や事業担当保健師が個別に対応。 参加者数：妊婦38名（うち第1子：32名）、夫33名（うち第1子：29名）、その他家族2名 総計：73名 ※個別対応分も含む		
		成果	<ul style="list-style-type: none"> ・参加動機としては、「知識の増加」「沐浴体験」「夫に知ってもらいたい（体験してもらいたい）」というものが多し。「夫婦で学びたい」「夫に知ってもらいたい」と思っている妊婦に対し、本事業はニーズを満たせていると考える。 ・体験を参加目的としている参加者が多いため、講話と体験のバランスを検討する必要があり、マタニティ教室を新しく事業化した。 	
		課題	育児への不安や心配事を軽減するために、妊婦やその家族同士が地域の中でつながりを持って育児をしていけるように事業を継続する必要がある。	
		達成度	A:概ね達成できた B:達成には至らないが取り組み中 C:未実施	
	本年度計画	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 ・ <input type="checkbox"/> 統合 ・ <input type="checkbox"/> 拡充 ・ <input type="checkbox"/> 縮小 ・ <input type="checkbox"/> 廃止		
本年度計画内容	<ul style="list-style-type: none"> ・働く妊婦らも参加しやすいよう平日は午後開催、土日の開催を引き続き行う。 ・目的別に参加できるパパママ教室とマタニティ教室を継続して実施する。 			

取組の方向性	②学びの場での男女共同参画教育の推進			
具体的な取組①	親子参加型の学習会や子育てに関する講演会を継続して実施します。			
個表番号 12	各課の取組	就学前の保護者に対する子育て・親育て講演会を実施する。	課名 こども課	
	前年度 事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 親子参加型の学習会や子育てに関する講演会を市内保育所・幼稚園・こども園・子育て支援センター「にこなん」で延べ21回実施し、合計441人の参加があった。 総合子育て支援センター「にこなん」で、育児講座を46回実施し、親子1,965人の参加があった。 		
		成果	<ul style="list-style-type: none"> にこなんが企画した講演会は、子育て家庭を対象に実際の子育てに役立つ内容で実施できた。 各所園で実施した学習会は、地域の子どもや家庭の実態に沿った内容で実施し、細やかな子育て支援につなげることができた。 	
		課題	<ul style="list-style-type: none"> 保護者の参加数を増やせるよう、子育ての悩みなど、関心の高い内容を調査する必要がある。 保護者の参加しやすい日程を検討するとともに、母親の参加が多い現状を踏まえ、父親や夫婦での参加を促していく取り組みの必要がある。 	
	達成度	A:概ね達成できた B:達成には至らないが取り組み中 C:未実施		
本年度計画	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 ・ <input type="checkbox"/> 統合 ・ <input type="checkbox"/> 拡充 ・ <input type="checkbox"/> 縮小 ・ <input type="checkbox"/> 廃止			
本年度 計画内容	保護者や講演会等実施後のアンケート等の意見を参考に、より参加しやすい学習会や講演会の内容・開催時期を検討し、実施する。			

具体的な取組②	児童生徒の発達段階や実態に応じて、学習指導要領に沿った男女共同参画に関する指導や性教育などを計画的に行います。			
個表番号 13	各課の取組	固定的な性別役割分担意識にとらわれない男女の人権を尊重する教育の推進	課名 学校教育課	
	前年度 事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領に沿った男女共同参画に関する指導や性教育などを計画的に実施した。 社会全体が、性的指向や性自認を理由とする偏見や差別をなくし、多様性が尊重される社会の実現を図るため、性の多様性についての理解を深めるための教育・啓発の推進を行った。 学校生活において男女別になっていた部分の見直しを行った。 【学校生活のきまり（靴下の色・ジェンダーレス制服導入など） 参観週間や人権参観日、PTA親子講演会での人権学習を実施した。 香南市作成のポスター（にじいろのまち香南市）の掲示をした。 		
		成果	「人権教育・生徒指導に関する取組状況調査」（令和7年1月実施）において、「性的指向・性自認に関して、児童生徒に対してどのような支援を実施していますか。又は、実施することとしていますか。」という項目における肯定的割合が、服装（63.6%→100%）、髪型（54.5%→90.9%）、更衣室（36.3%→90.9%）、トイレ（45.4%→81.8%）、呼称の工夫（45.4%→100%）、授業（18.1%→45.4%）、水泳（54.5%→90.9%）、運動部の活動（27.2%→54.5%）、修学旅行等についての支援（18.1%→72.7%）となり、昨年度以上に見直し、支援体制の充実を図ることができている。	
		課題	各校の支援体制や実施内容についてのバラつきがある。市内全学校への周知と、各校の実態に合わせた個別の啓発のあり方について検討し、支援体制充実を図る。関係機関とも連携した研修や啓発を行う。	
	達成度	A:概ね達成できた B:達成には至らないが取り組み中 C:未実施		
本年度計画	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 ・ <input type="checkbox"/> 統合 ・ <input type="checkbox"/> 拡充 ・ <input type="checkbox"/> 縮小 ・ <input type="checkbox"/> 廃止			
本年度 計画内容	各校の支援体制や実施内容について共有を図り、担当者や学校任せではなく、市全体を共有しながら各校の取組を見直すことができるよう、市としての推進のあり方を工夫する。			

具体的な取組③	各中学校での思春期講演会など、専門職による性教育を行います。			
個表番号 14	各課の取組	各中学校で思春期保健事業を実施する。	課名 健康対策課	
	前年度 事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 各中学校3年生（4校・対象 256人）で思春期保健事業を実施した。 内容/目的： 思春期のこころの健康教育により、複雑な心の変化や自己肯定感の低下から起こりうるトラブル（妊娠、性感染症、いじめ、不登校、自殺、性被害・加害等）の予防につなげる 小学校からの依頼により物品（沐浴人形、妊婦疑似体験シミュレーター、胎児人形）の貸し出し及び授業への参加を実施した。 		
		成果	事前事後のアンケートにより母子保健指標の評価および全体の傾向、また回答内容から個別指導が必要と思われる生徒を抽出（41人）し見守りや面談につなげることができた。 （母子保健指標） 自尊感情を高めることができる割合 76.5%（指標50%↑） 相談先を知っている割合62.9%（50%↑） 困った時に相談しようと思う割合 71.8%（70%↑） 睡眠で休養が取れている割合 86.3%（70%↑）	
		課題	全ての指標で目標値を達成。相談先を知っている割合が減少。思春期授業で事前事後のアンケートを実施。アンケート結果を利用した有意義な情報交換が教師と保健師の間で実施できた。	
	達成度	A:概ね達成できた B:達成には至らないが取り組み中 C:未実施		
本年度計画	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 ・ <input type="checkbox"/> 統合 ・ <input type="checkbox"/> 拡充 ・ <input type="checkbox"/> 縮小 ・ <input type="checkbox"/> 廃止			
本年度 計画内容	<ul style="list-style-type: none"> 目的/内容等を学校と再確認しながら、生徒の現状/課題も含めて共通認識をしようとして事業を進める。 相談の仕方をロールプレイできるワークを実施実施していく。 より生徒の理解が進むよう、保健師のみでなく教諭と役割分担しながら授業を進める。 			

取組の方向性		③働く場での意識啓発		
具体的な取組①		講演会開催時のハラスメント防止に関するリーフレットや啓発冊子の配布、企業等において、ハラスメントを防止する研修会などを実施します。		
個表番号 15	各課の取組	企業などにおいてハラスメントを防止する研修会などを推進する。	課名	人権課
	前年度事業実績	職場における人権について、香南市企業等人権問題連絡協議会と連携して研修を実施した。 ○自主研修会 演題：法的リスクを避けるカスタマーハラスメント ～弁護士が教える実践ガイド～ 日時：令和6年10月18日（金） 講師：藤宗 正志 氏（藤宗本澤法律事務所）		
		成果	会員企業と市の職員が参加し、職場におけるハラスメント防止対策に関する理解を深めることができた。	
		課題	ハラスメントの種類は多岐に渡るため、研修会等での推進に加え、広報誌等でも情報提供する必要がある。	
		達成度	Ⓐ:概ね達成できた B:達成には至らないが取り組み中 C:未実施	
	本年度計画	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 ・ <input type="checkbox"/> 統合 ・ <input type="checkbox"/> 拡充 ・ <input type="checkbox"/> 縮小 ・ <input type="checkbox"/> 廃止		
本年度計画内容	・香南市企業等人権問題連絡協議会（企人協）と連携し、企人協総会時などに研修会を開催する。 ・ハラスメントを防止するため、広報誌や市のSNS、研修等で引き続き、情報を発信していく。			
個表番号 16	各課の取組	イベントにおいてハラスメントに関する啓発活動を推進する。	課名	人権課
	前年度事業実績	過去に講演会やイベントと違う人権課題の配布物を配らないでほしいというご意見があったため、講演会やイベント開催時に、ハラスメント防止に関するリーフレットや啓発冊子の配布を行うことができなかった。		
		成果	啓発活動が実施できなかったため特に成果はみられなかった。	
		課題	ハラスメントの種類は多岐に渡るため、広報等でも情報提供していく必要がある。	
		達成度	A：概ね達成できた B：達成には至らないが取り組み中 C：未実施	
	本年度計画	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 ・ <input type="checkbox"/> 統合 ・ <input type="checkbox"/> 拡充 ・ <input type="checkbox"/> 縮小 ・ <input type="checkbox"/> 廃止		
本年度計画内容	・ソーレ主催のDV防止啓発講演会をサテライト開催した時に、ハラスメント防止に関するリーフレットや啓発冊子の配布を行う。 ・広報誌や市のSNS等に「職場の人権問題」に関する記事を掲載し、ハラスメント防止への理解を促進する。			
具体的な取組②		企業訪問時に、働きやすい職場の環境づくりを推進するよう取り組みます。		
個表番号 17	各課の取組	企業訪問時に、働きやすい職場の環境づくりの推進に向けて働きかけを行う。	課名	商工観光課
	前年度事業実績	企業訪問時にチラシを配布するなど、働きやすい職場の環境づくりの推進に向けて働きかけた。 市ホームページに高知県ワークライフバランス推進企業認証制度について掲載した。		
		成果	・企業経営者に働きかけることで、ハラスメントの予防、防止への意識を高めることができた。 ・本市における高知県ワークライフバランス推進企業認証取得件数（12件）	
		課題	小規模事業者等は取り組みが難しい場合がある。（職場内でのワークライフバランス研修の実施等）	
		達成度	Ⓐ:概ね達成できた B:達成には至らないが取り組み中 C:未実施	
本年度計画	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 ・ <input type="checkbox"/> 統合 ・ <input type="checkbox"/> 拡充 ・ <input type="checkbox"/> 縮小 ・ <input type="checkbox"/> 廃止			
本年度計画内容	企業訪問時等の機会を通じて働きやすい職場の環境づくりを推進するよう継続して取り組む。			

推進方策		(3) あらゆる暴力を根絶する【DV防止基本計画】		
取組の方向性①		暴力を許さない意識の醸成		
具体的な取組①		暴力根絶のための広報啓発活動として、学校での人権教育や各種イベント会場でのパネル展示、市広報誌への啓発記事の掲載など、暴力を許さないまちとして市民意識を高めます。 また、児童虐待や高齢者、障害のある人などに対する虐待の根絶に向けた周知啓発と、これらの虐待を発見したときは、速やかに市や児童相談所などへ通告しなければならないことも周知します。		
個表番号 18	各課の取組	暴力根絶のため人権啓発フェスティバル、人権週間に合わせて啓発パネルの展示や冊子の配布を行う。	課名	人権課
	前年度事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・人権啓発フェスティバル及び人権週間に於いて、啓発パネルの展示や冊子の配布を行うことができなかった。 ・市役所や支所のトイレに「女性に対する暴力をなくす運動」「AV出演被害防止」啓発シールを設置した。 		
		成果	DV被害者であることに気づかないまま過ごしている人がいる中で、幅広い年代の来場が見込める講演会等の会場において啓発パネルの展示や啓発冊子を配布することができなかった。	
		課題	<ul style="list-style-type: none"> ・暴力根絶のためには、継続した啓発活動や広報を行う必要がある。 ・人権課題が多岐にわたる中で、他の課題に気を取られ啓発の好機を見逃すことがあるため、一つひとつの機会を丁寧に捉える視点が必要がある。 	
	達成度	A：概ね達成できた B：達成には至らないが取り組み中 C：未実施		
本年度計画	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 ・ <input type="checkbox"/> 統合 ・ <input type="checkbox"/> 拡充 ・ <input type="checkbox"/> 縮小 ・ <input type="checkbox"/> 廃止			
本年度計画内容	重点とする課題を事前に整理、啓発の意図を明確にし、啓発パネルの展示等を行う。			
個表番号 19	各課の取組	児童虐待及び通告に関する周知啓発に取り組む。	課名	福祉事務所
	前年度事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・5～6月に保幼の保護者に相談窓口等のチラシ配布を行った。 ・11月児童虐待防止推進キャンペーンに合わせて子どもへの関わり方や相談窓口他について広報掲載をした。また全保幼小中学校に相談窓口の啓発グッズ等を配布を行った。 		
		成果	児童本人、保護者、地域からの相談は22件あり、必要な支援や相談機関につなげることができた。	
		課題	虐待の根絶に向け周知徹底していく必要がある。	
	達成度	A:概ね達成できた B:達成には至らないが取り組み中 C:未実施		
本年度計画	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 ・ <input type="checkbox"/> 統合 ・ <input type="checkbox"/> 拡充 ・ <input type="checkbox"/> 縮小 ・ <input type="checkbox"/> 廃止			
本年度計画内容	<ul style="list-style-type: none"> ・こども家庭センターにおいて妊産婦、子育て家庭、子どものからの相談等に母子保健と児童福祉が一体となって対応していく。 ・こども家庭センターの役割や機能他の啓発を通して、虐待の予防的な対応や相談通告についての周知をしていく。 			
具体的な取組②		デートDV防止活動として、各種イベント会場でのパネル展示や市広報誌への啓発記事掲載などを行います。 また、ストーカーやハラスメント防止に関する啓発活動、各種イベント会場でのパネル展示による啓発や研修なども行います。		
個表番号 20	各課の取組	デートDV防止活動として、広報誌への啓発記事掲載などを行う。また、城山高校の生徒に対しDV防止冊子「それってラブラブ？」を配付する。	課名	人権課
	前年度事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・人権教室にて、人権擁護委員と教員によるデートDVの授業（ロールプレイ）を行った。 ・県立城山高等学校の1年生と教員に啓発冊子「それってラブラブ…？」の提供を行った。 		
		成果	<ul style="list-style-type: none"> ・デートDVのロールプレイでは、教員が彼氏・彼女になりきっていたこともあり、生徒たちは楽しみながらも学ぶことができ、有意義な授業及び啓発となった。 ・学生に親しんでもらいやすいイラストで構成された冊子で、デートDVについて学んでもらうことができた。 	
		課題	若年層等に対して、デートDVをはじめとするDV防止に向け、継続して学ぶ機会を作っていく必要がある。	
	達成度	A：概ね達成できた B：達成には至らないが取り組み中 C：未実施		
本年度計画	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 ・ <input type="checkbox"/> 統合 ・ <input type="checkbox"/> 拡充 ・ <input type="checkbox"/> 縮小 ・ <input type="checkbox"/> 廃止			
本年度計画内容	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、啓発冊子を提供や人権擁護委員と協力し、デートDVについて学習してもらう。 ・香南ケーブルテレビに「デートDV」に関する映像の放送を依頼する。 			

	取組の方向性	②DVやハラスメント相談・支援体制の充実		
	具体的な取組①	DV被害者の保護及び自立支援に向けて、被害者の安全確保や緊急回避支援策の充実、相談支援体制の充実を図ります。		
個 表 番 号 21	各課の取組	研修会等に積極的に参加して職員のスキルアップを図り、相談支援の充実に取り組む。	課名	人権課
	前年度 事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・本庁、各支所で年間の人権相談予定表を配布した。 ・市役所や支所、関係施設等のトイレにDV相談窓口カードを設置した。 ・11月の「女性に対する暴力をなくす運動」と「児童虐待防止推進月間」の期間に合わせ広報誌にDV防止に関する記事を掲載した。 ・【ソーレ主催】令和6年度DV防止啓発講演会 のいちふれあいセンターにサテライト会場を開設した。 日時：令和6年11月9日（土） 演題：DVからの回復 ～再起する力を育むサポート・ケア支援～ 講師：宇治 和子さん（郡山女子大学短期大学部幼児教育学科 准教授） 		
		成果	<ul style="list-style-type: none"> ・女性、男性それぞれの相談窓口について、広く周知することができた。 ・毎年行われる、ソーレ主催のDV防止啓発講演会を香南市でサテライト会場を開設し、職員及び市民に対して広く周知することができた。 	
		課題	<ul style="list-style-type: none"> ・相談支援の充実のため、職員の研修への参加、関係課や関係団体との連携を図る必要がある。 ・広く周知することはできたが、職員及び市民の参加者は少なかったため、周知するだけでなく、その周知方法を検討する必要がある。 	
	達成度	A：概ね達成できた B：達成には至らないが取り組み中 C：未実施		
本年度計画	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 ・ <input type="checkbox"/> 統合 ・ <input type="checkbox"/> 拡充 ・ <input type="checkbox"/> 縮小 ・ <input type="checkbox"/> 廃止			
本年度 計画内容	<ul style="list-style-type: none"> ・研修会等に積極的に参加し、相談支援の充実に図る。また、さまざまな環境の変化やニーズを考慮したうえで、関係課や関係機関との連携を図る。 ・研修会や講演会の周知をする際に、そのテーマの重要性を追記し、参加することの意義や職員の意識向上を図る。 			
個 表 番 号 22	各課の取組	児童相談所や女性相談支援センター、警察など関係機関と連携を取りながら被害者からの相談、保護に取り組む。	課名	福祉事務所
	前年度 事業実績	保護や支援の必要と思われる児童がいる家庭については、女性相談支援センターや母子生活支援施設、児童相談所、警察と連携し支援した。		
		成果	<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関との連携により安全確保を行うことができた。 ・被害者の自立に向け、関係機関との連携強化を図ることができた。 	
		課題	今後スムーズな対応が行えるよう連携を行う必要がある。	
	達成度	A：概ね達成できた B：達成には至らないが取り組み中 C：未実施		
本年度計画	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 ・ <input type="checkbox"/> 統合 ・ <input type="checkbox"/> 拡充 ・ <input type="checkbox"/> 縮小 ・ <input type="checkbox"/> 廃止			
本年度 計画内容	児童相談所や女性相談支援センター、警察など関係機関と連携を取りながら被害者からの相談、保護に取り組む。			
個 表 番 号 23	各課の取組	被害者の自立に向け、関係課や警察、女性相談支援センター、児童相談所など関係機関と連携を図り支援する。	課名	人権課
	前年度 事業実績	被害者の自立に向けた支援を行うケースはなかった。		
		成果	ケースがなかったため、実績なし。	
		課題	被害者から相談があった場合、関係課、関係機関と連携を図り、自立に向けて支援する必要がある。	
	達成度	A：概ね達成できた B：達成には至らないが取り組み中 C：未実施		
本年度計画	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 ・ <input type="checkbox"/> 統合 ・ <input type="checkbox"/> 拡充 ・ <input type="checkbox"/> 縮小 ・ <input type="checkbox"/> 廃止			
本年度 計画内容	被害者の自立に向け、関係課や関係機関と連携を図り支援する。			

具体的な取組②		庁内での連携及びこうち男女共同参画センター「ソーレ」や女性相談支援センター、警察、母子生活支援施設などの関係機関との連携による支援体制を整備するとともに、DV被害者の状況に応じた相談支援を行えるよう、県または近隣自治体と連携した、支援体制を構築します。			
個 表 番 号 24	各課の取組	関係課や女性相談支援センター、警察など関係機関と連携を密にし、支援の充実を図る。	課名	人権課	
	前年度 事業実績	DVに関する相談が1件あった。			
		成果	関係機関との連携などの支援等について説明したが、人権課内で完結できた。		
		課題	被害者から相談があった場合、関係課、関係機関と連携を図り、自立に向けて支援する必要がある。		
	達成度	A:概ね達成できた B:達成には至らないが取り組み中 C:未実施			
本年度計画	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 ・ <input type="checkbox"/> 統合 ・ <input type="checkbox"/> 拡充 ・ <input type="checkbox"/> 縮小 ・ <input type="checkbox"/> 廃止				
本年度 計画内容	引き続き、被害者の自立に向け、関係課や関係機関と連携を図り支援する。				

具体的な取組③		職場内におけるハラスメントや職員の心身の健康についての相談体制の充実を図ります。			
個 表 番 号 25	各課の取組	職場のトラブル（解雇、パワハラなど）の無料労働相談会などの開催について広報誌に掲載する。	課名	商工観光課	
	前年度 事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 職場のトラブル（解雇、パワハラ、残業代の未払いなど）の無料労働相談会の開催について広報誌9月号へ掲載した。 企業訪問時に働きやすい職場の環境づくりを推進するよう働きかけた。 			
		成果	<ul style="list-style-type: none"> 広報誌等で情報提供ができた。 企業経営者に働きかけることで、社内における相談体制の充実について意識を高めることができた。 		
		課題	企業の規模により、職場内での相談体制を充実させることが難しい場合がある。		
	達成度	A:概ね達成できた B:達成には至らないが取り組み中 C:未実施			
本年度計画	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 ・ <input type="checkbox"/> 統合 ・ <input type="checkbox"/> 拡充 ・ <input type="checkbox"/> 縮小 ・ <input type="checkbox"/> 廃止				
本年度 計画内容	企業訪問や関係機関などと連携を取りながら、引き続き周知を図る。				
個 表 番 号 26	各課の取組	ハラスメント防止研修の実施及び相談体制の充実を図る。	課名	総務課	
	前年度 事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 組織内部の相談窓口を人事異動に伴い更新し、ハラスメント防止対策ガイドブックを作成し、周知している。 組織外部の相談窓口を設置し、相談の間口を拡大（ハラスメントに関する相談実績1件） 全職員を対象に職場のハラスメント防止研修を実施（7月から8月にかけて4回実施し、124名の職員が参加） 			
		成果	ハラスメント相談窓口の拡大や職員研修によりハラスメントへの関心と理解を深めることができた。		
		課題	特定の職場でパワーハラスメント事案が発生した。		
	達成度	A:概ね達成できた B:達成には至らないが取り組み中 C:未実施			
本年度計画	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 ・ <input type="checkbox"/> 統合 ・ <input type="checkbox"/> 拡充 ・ <input type="checkbox"/> 縮小 ・ <input type="checkbox"/> 廃止				
本年度 計画内容	全ての職員がハラスメントを正しく理解するよう研修、啓発を行い、事案を見逃さないよう相談、通報窓口を組織内部のみならず外部にも設け、ハラスメントのない職場づくりに努めていく。				

具体的な取組④		<p>こどもに対する暴力・虐待の防止に向けて、要保護児童対策地域協議会の連携強化に努めるとともに、代表者会議、実務者会議、個別ケース検討会などを積極的に開催します。</p> <p>また、保護や支援が必要と思われる児童がいる家庭については、児童相談所や警察などと連携し支援します。</p>			
個 表 番 号 27	各課の取組	香南市要保護児童対策地域協議会において、関係機関との連携や支援の充実を図る。	<table border="1"> <tr> <td>課名</td> <td>福祉事務所</td> </tr> </table>	課名	福祉事務所
	課名	福祉事務所			
	前年度事業実績	<p>代表者会議、実務者会議を開催。また個別ケース検討会議においては、関係機関と情報や課題及び支援を共有し、連携して支援を行うことができた。</p>			
	成果	香南市要保護児童対策地域協議会の各会議において、関係機関の役割やケースの情報共有を行い、連携しながら早期発見、早期対応に努めることができた。			
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ・課題が複雑なケースが多くなっており、調整機関としての役割が問われている。 ・対応する職員のスキルアップしていく必要がある。 ・地域からの情報提供などにより、早期発見し、支援する必要がある。 			
達成度	<input type="radio"/> A:概ね達成できた <input type="radio"/> B:達成には至らないが取り組み中 <input type="radio"/> C:未実施				
本年度計画	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止				
本年度計画内容	<ul style="list-style-type: none"> ・要保護児童対策地域協議会における、登録ケースの支援の評価や見直しを行い、児童虐待の予防や再発防止に努める。 ・実務者会議での協議の充実や個別ケース検討会議を積極的に開催し、関係機関との連携や支援の充実を図る。 				

基本目標		2 男女がともに活躍する環境づくり【女性活躍推進基本計画】	
推進方策	(1) 働く場における女性活躍を推進する		
取組の方向性	①多様なニーズに応じた就労支援		
具体的な取組①	女性の就職に対する支援として、市役所や各市民館などにおける求人情報の設置、企業の説明会や面接会の開催による女性の就職につながる支援を行います。		
個表番号 28	各課の取組	ハローワークの求人情報の提供及び市民館の相談支援での女性の就職に対する支援を行う。	課名 人権課
	前年度 事業実績	ハローワーク香美から届く求人情報を本庁2階情報コーナーに設置し、情報提供を行った。また、各市民館カウンターに求人情報を設置し、情報提供および相談支援を行った。	
		成果	就職希望の女性に対し、求人情報を提供することができた。また、市民館の相談支援の中で、経済的に困窮しているケースについては、就労につながるよう関係課と連携を図ることができた。しかし、情報提供や関係課との連携によって、どのくらい就労につながったのかまでを把握することが非常に難しい。
		課題	主に求人情報の提供のみになっている。
	達成度	A: 概ね達成できた B: 達成には至らないが取り組み中 C: 未実施	
本年度計画	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 ・ <input type="checkbox"/> 統合 ・ <input type="checkbox"/> 拡充 ・ <input type="checkbox"/> 縮小 ・ <input type="checkbox"/> 廃止		
本年度 計画内容	引き続き、求人情報の提供を行いながら、就職を希望する女性等に対する相談支援を行う。必要に応じて、関係課、関係機関を案内する。		
個表番号 29	各課の取組	就職に関する情報提供を行うとともに企業説明会や面接会を開催し、女性の就職につなげる。	課名 商工観光課
	前年度 事業実績	・広報誌4、8月号に介護やオフィススキルなどの職業訓練について掲載した。 ・高知県立地企業合同企業説明会について、ホームページ、香南ケーブルテレビや広報誌9月号にて周知を行い、9月11日にふれあいセンターで実施した。	
		成果	企業説明会や面接会への女性の参加につなげることができた。
		課題	情報提供したことや、企業説明会や面接会に参加した女性が、どの程度就職につながっているか把握しづらい。
	達成度	A: 概ね達成できた B: 達成には至らないが取り組み中 C: 未実施	
本年度計画	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 ・ <input type="checkbox"/> 統合 ・ <input type="checkbox"/> 拡充 ・ <input type="checkbox"/> 縮小 ・ <input type="checkbox"/> 廃止		
本年度 計画内容	関係機関と連携を取りながら情報提供を行うとともに、立地企業の説明会や面接会を開催し、女性の就職につなげる。		
取組の方向性	②女性の再就職支援、起業支援		
具体的な取組①	ハローワーク等の関係機関と連携し、再就職に関する企業情報及び再就職を支援するための技術や知識の習得を目的とした講座の開催情報の提供に努めます。		
個表番号 30	各課の取組	ハローワークの求人情報の提供及び市民館の相談支援での女性の再就職に対する支援を行う。	課名 人権課
	前年度 事業実績	女性の再就職に向けて、ハローワーク香美から届く求人情報を印刷し、本庁2階情報コーナーや各市民館カウンターに設置し、情報提供を行った。	
		成果	年間を通して求人情報の提供ができた。
		課題	情報提供は行っているが、再就職等につながっているかどうか把握できていない。
	達成度	A: 概ね達成できた B: 達成には至らないが取り組み中 C: 未実施	
本年度計画	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 ・ <input type="checkbox"/> 統合 ・ <input type="checkbox"/> 拡充 ・ <input type="checkbox"/> 縮小 ・ <input type="checkbox"/> 廃止		
本年度 計画内容	引き続き、求人情報などの情報提供を行う。また、再就職や起業についての相談があった場合、関係課や関係機関に迅速に引継ぎが行えるよう、連携を図る。		

個 表 番 号 31	各課の取組	関係機関と連携し、再就職に関する企業情報及び再就職支援イベントの情報発信を行う。		課名	商工観光課
	前年度 事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・広報誌4、8月号に介護やオフィススキルなどの職業訓練について掲載した。 ・高知県立地企業合同企業説明会について、ホームページ、香南ケーブルテレビや広報誌9月号にて周知を行い、9月11日にふれあいセンターで実施した。 			
		成果	企業説明会や面接会への女性の参加につなげることができた。		
		課題	情報提供したことや、企業説明会や面接会に参加した女性が、どの程度再就職につながっているか把握しづらい。		
	達成度	A:概ね達成できた B:達成には至らないが取り組み中 C:未実施			
本年度計画	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 ・ <input type="checkbox"/> 統合 ・ <input type="checkbox"/> 拡充 ・ <input type="checkbox"/> 縮小 ・ <input type="checkbox"/> 廃止				
本年度 計画内容	関係機関と連携を取りながら情報提供を行うとともに、立地企業の説明会や面接会を開催し、女性の再就職につなげる。				

取組の方向性	③職場における男女の均等な雇用機会と待遇の確保				
具体的な取組①	市広報誌等へ「男女雇用機会均等法」や「働く女性の母性健康管理措置、母性保護規定」、「女性活躍推進法」をはじめとする雇用・労働の法制度などに関する記事を掲載します。				
個 表 番 号 32	各課の取組	(再掲) 職場のトラブル(解雇、パワハラなど)の無料労働相談会などの開催について広報誌に掲載する。		課名	商工観光課
	前年度 事業実績	職場のトラブル(解雇、パワハラ、残業代の未払いなど)の無料労働相談会の開催について広報誌9月号へ掲載した。			
		成果	無料相談や制度について、広報誌に掲載することで、周知を図ることができた。		
		課題	より効果的な広報活動や取組の検討が必要である。		
	達成度	A:概ね達成できた B:達成には至らないが取り組み中 C:未実施			
本年度計画	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 ・ <input type="checkbox"/> 統合 ・ <input type="checkbox"/> 拡充 ・ <input type="checkbox"/> 縮小 ・ <input type="checkbox"/> 廃止				
本年度 計画内容	関係機関と連携を図り情報を発信する。				

具体的な取組②	企業訪問時や企業交流会などの機会を通じて、企業経営者に対し、女性活躍の重要性や職場の環境整備・改善について意識を高めます。				
個 表 番 号 33	各課の取組	企業訪問時や企業交流会等の機会を通じて、働きやすい職場環境づくりの啓発に取り組む。		課名	商工観光課
	前年度 事業実績	企業訪問時に、働きやすい職場の環境づくりを推進するよう働きかけた。市ホームページに高知県ワークライフバランス推進企業認証制度について掲載した。			
		成果	<ul style="list-style-type: none"> ・企業経営者に働きかけることで、ハラスメントの予防、防止への意識を高めることができた。 ・本市における高知県ワークライフバランス推進企業認証取得件数(12件) 		
		課題	より効果的な広報活動や取組の検討が必要である。		
	達成度	A:概ね達成できた B:達成には至らないが取り組み中 C:未実施			
本年度計画	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 ・ <input type="checkbox"/> 統合 ・ <input type="checkbox"/> 拡充 ・ <input type="checkbox"/> 縮小 ・ <input type="checkbox"/> 廃止				
本年度 計画内容	企業訪問時や企業交流会等の機会を通じて、継続して取り組む。				

推進方策	(2) 意思決定の場への女性参画を促進する					
取組の方向性	①各委員会等への女性の参画促進					
具体的な取組①	所管する各審議会・委員会における女性委員の登用割合を30%になるよう推進します。また、委員等の構成に男女の偏りが出ないように取り組みます。					
各課の取組	所管する各審議会・委員会における女性委員の登用割合を30%になるよう推進する。	課名	人権課			
<table border="0"> <tr> <td style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">個表番号</td> <td style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">34</td> <td style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">前年度 事業実績</td> </tr> </table>	個表番号	34	前年度 事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・地方自治法（第180条の5）に基づく委員会などの女性登用に努めた。 教育委員・・・・・・・・・・・・・・・・ 2/4 50.0% 選挙管理委員・・・・・・・・・・・・ 3/4 75.0% 監査委員・・・・・・・・・・・・・・ 1/3 33.3% 農業委員・・・・・・・・・・・・・・ 2/19 10.5% 固定資産評価審査委員・・・・・・ 1/5 20.0% ・地方自治法（第202条の3）に基づく審議会などの女性登用に努めた。 香南市まち・ひと・しごと 創生総合戦略策定委員会・・・・・・ 8/15 53.3% 防災会議・・・・・・・・・・・・・・ 3/40 7.5% 民生委員推薦会・・・・・・・・・・・・ 3/10 30.0% 国民健康保険連合協議会・・・・・・ 3/12 25.0% 介護認定審査会・・・・・・・・・・・・ 11/23 47.8% 社会教育委員会・・・・・・・・・・・・ 3/15 20.0% スポーツ推進審議会・・・・・・・・・・ 1/14 7.1% 図書館協議会・・・・・・・・・・・・ 7/10 70.0% 文化財保護審議会・・・・・・・・・・・・ 1/10 10.0% 都市計画審議会・・・・・・・・・・・・ 1/10 10.0% 国民保護協議会・・・・・・・・・・・・ 6/30 20.0% 香南香美地区障害者自立支援審査会・・・ 3/7 42.9% 特別職報酬等審議会・・・・・・・・・・ 実績なし 情報公開審査会・・・・・・・・・・・・ 1/5 20.0% 個人情報保護審査会・・・・・・・・・・ 1/5 20.0% 地域公共交通会議・・・・・・・・・・・・ 3/20 15.0% 広報編集委員会・・・・・・・・・・・・ 4/5 80.0% 土地環境保全審議会・・・・・・・・・・ 2/11 18.2% 地域包括支援センター運営協議会・・・・ 8/15 53.3% 地域密着型サービス運営委員会・・・・ 8/15 53.3% ポートピア土佐運営安全対策委員会・・・ 2/20 10.0% 「ポートピア土佐」環境整備費運用委員会 0/8 0% 給食センター運営委員会・・・・・・・・ 7/16 43.8% 補導センター運営委員会・・・・・・・・ 3/12 25.0% 香南市公民館運営委員会・・・・・・・・ 4/14 28.6% 生涯学習施設運営審議会・・・・・・・・ 3/15 20.0% 水道審議会・・・・・・・・・・・・・・ 2/10 20.0% 下水道審議会・・・・・・・・・・・・・・ 4/10 40.0% 赤岡市民館運営審議会・・・・・・・・・・ 8/14 57.1% 吉川市民館運営審議会・・・・・・・・・・ 4/10 40.0% 大型共同作業場運営審議会・・・・・・ 実績なし 市営住宅入居者選考委員会・・・・・・ 7/11 63.6% 子ども・子育て会議・・・・・・・・・・ 13/19 68.4% ・人権課が所管する設置要綱に基づく審議会 人権教育・啓発推進審議会・・・・・・ 8/14 57.1% 男女共同参画推進審議会・・・・・・ 7/12 58.3% 		
	個表番号	34	前年度 事業実績			
	成果	<ul style="list-style-type: none"> ・目標を達成した委員会等の数の推移 (令和元年度) 16委員会 (令和2年度) 17委員会 (令和3年度) 17委員会 (令和4年度) 16委員会 (令和5年度) 17委員会 (令和6年度) 17委員会 ・地方自治法（第180条の5）に基づく委員会などの女性登用数と割合の推移。 (令和元年度) 6/35 17.1% (令和2年度) 6/35 17.1% (令和3年度) 7/35 20.0% (令和4年度) 10/35 28.5% (令和5年度) 9/35 25.7% (令和6年度) 9/35 25.7% ・地方自治法（第202条の3）に基づく審議会などの女性登用数と割合の推移。 (令和元年度) 117/419 27.9% (令和2年度) 120/405 29.6% (令和3年度) 119/402 29.6% (令和4年度) 137/469 29.2% (令和5年度) 141/477 29.6% (令和6年度) 134/431 31.1% 				
	課題	委員改選時の積極的な女性の登用を依頼しているが、現状は女性委員の推薦が少ない。また、以前からの課題でもあるが、委員会などを構成する委員が充て職の場合、各団体の代表者が男性であることも多く、女性委員の登用率向上に繋がりにくい。				
達成度	A:概ね達成できた B:達成には至らないが取り組み中 C:未実施					
本年度計画	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 ・ <input type="checkbox"/> 統合 ・ <input type="checkbox"/> 拡充 ・ <input type="checkbox"/> 縮小 ・ <input type="checkbox"/> 廃止					
本年度計画内容	令和7年度が委員の改選になっている審議会・委員会に対して、女性委員の登用割合が30%になるよう、推進する。					

推進方策		(3) ワーク・ライフ・バランスを実現する		
取組の方向性		①ワーク・ライフ・バランスの理解促進		
具体的な取組		「香南市特定事業主行動計画」に基づき出産・子育てのしやすい、ワーク・ライフ・バランスを実現できる職場環境の形成等に取り組みます。		
個表番号 35	各課の取組	「香南市特定事業主行動計画」に基づき出産・子育てのしやすい、ワーク・ライフ・バランスを実現できる職場環境の形成等に取り組みます。	課名 総務課	
	前年度 事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 勤務形態の見直しとして時差出勤を継続して行った。利用者：2名 子育て支援のための育児短時間勤務制度を実施した。利用者：4名 		
		成果	仕事と生活（子育て）の両立支援に係る制度の改正について、国に併せて制度改正を行い環境整備を図った。	
		課題	仕事と生活（子育て）の両立支援に係る制度について周知し利用促進を図っているが、部分休業では給料が減額となることや所属において休業部分の業務の割振りを行う必要がある。	
	達成度	A:概ね達成できた B:達成には至らないが取り組み中 C:未実施		
	本年度計画	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 ・ <input type="checkbox"/> 統合 ・ <input type="checkbox"/> 拡充 ・ <input type="checkbox"/> 縮小 ・ <input type="checkbox"/> 廃止		
本年度 計画内容	ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた職場環境整備のための香南市特定事業主行動計画の見直しを行う。			
取組の方向性		②子育て・介護支援の充実		
具体的な取組①		介護サービスや福祉サービスなど支援の充実を図ります。		
個表番号 36	各課の取組	介護サービスなど支援の充実を図ります。	課名 高齢者介護課	
	前年度 事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 市民税非課税の要支援・要介護認定者で、独力での通院が困難な方に対して、在宅生活の支援及び支援者の負担を軽減を目的に、通院時のタクシー代等の助成を行っている。 要介護3～5の認定を受けている市民税非課税世帯の高齢者を月に15日以上在宅で介護している市民税非課税世帯の介護者に対して、在宅介護手当を支給している。 		
		成果	<ul style="list-style-type: none"> 医療機関送迎サービス：これまで事業を利用できず仕事を休みながら送迎支援をされてきたご家族が利用できるようになった。R6年度未利用者数（登録者）159人 うちR6年度新規 51人 在宅介護手当：令和6年度未利用者数 44人 	
		課題	改正後の制度の周知を行う必要がある。	
	達成度	A:概ね達成できた B:達成には至らないが取り組み中 C:未実施		
	本年度計画	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 ・ <input type="checkbox"/> 統合 ・ <input type="checkbox"/> 拡充 ・ <input type="checkbox"/> 縮小 ・ <input type="checkbox"/> 廃止		
本年度 計画内容	広報誌やチラシ送付により福祉サービスの周知を行いながら、ニーズ等を踏まえたサービスの検討をしていく。			
各課の取組		障害者・障害児福祉サービスなど支援の充実を図ります。	課名 福祉事務所	
個表番号 37	前年度 事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 障害者自立支援給付・障害児通所支援サービスを円滑に利用できるよう相談支援を行います。 地域の実情に応じた地域生活支援事業の提供を行います。 		
		成果	<ul style="list-style-type: none"> 障害者自立支援給付及び障害児通所支援サービスについて地域の支援機関と連携し、支援を行うことができた。 生活環境の整備として日常生活用具給付事業を実施、また移動支援系サービスはコロナ禍以降減少していた利用者が増加に転じ、地域の障害を持つ方の生活支援を行うことができた。 	
		課題	<ul style="list-style-type: none"> 相談支援専門員が不足しており、担い手の養成や課題の分析、地域の支援機関との連携を行う必要がある。 地域生活支援事業は、日常生活用具について物価高騰等の影響により補助基準額の見直しが必要である。 	
	達成度	A:概ね達成できた B:達成には至らないが取り組み中 C:未実施		
本年度計画	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 ・ <input type="checkbox"/> 統合 ・ <input type="checkbox"/> 拡充 ・ <input type="checkbox"/> 縮小 ・ <input type="checkbox"/> 廃止			
本年度 計画内容	<ul style="list-style-type: none"> 障害者自立支援給付・障害児通所支援サービスを適切に提供できる体制を継続するために地域における課題等について障害者自立支援協議会等で検討していく。 地域生活支援事業の日常生活用具補助基準額は、近隣市町村、利用者のニーズ調査を行い引き上げを検討する。 			

具体的な取組②		子育てに関する相談や交流の場の提供及び子育て関連の情報を提供します。			
個 表 番 号 38	各課の取組	子育てに関する相談や交流の場の提供及び子育て関連の情報を提供する。	課名	こども課	
	前年度 事業実績	<p>【地域子育て支援センター】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和7年3月末日現在の実施状況 ○香南市総合子育て支援センター「にこなん」 ひろば実施日数：267日 参加保護者数：6,578人 参加児童数 6,933人 相談件数：145件 講習（育児学級）などの実施日数：46回 1,965人参加 ○出張ひろば（夜須・吉川は午前中のみ開設） ①夜須こども園子育て支援センター（すくすくひろば） 実施日数：41日 参加保護者数：108人 参加児童数：136人 ②香我美おれんじ保育所子育て支援センター（あのねひろば） 実施日数：46日 参加保護者数：136人 参加児童数：150人 ③赤岡保育所子育て支援センター（つながれひろば） 実施日数：43日 参加保護者数：110人 参加児童数：122人 ④吉川みどり保育所子育て支援センター（あったかひろば） 実施日数：39日 参加保護者数：54人 参加児童数：76人 <p>【ファミリーサポートセンター】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・香南市社会福祉協議会にファミリーサポートセンター事業を委託し実施した。 活動回数：213回 おねがい会員101人、まかせて会員48人 			
		成果	<p>（地域子育て支援センター）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・拠点となる香南市総合子育て支援センターの周知が進んでおり、母親の利用がほとんどではあるが、夫婦や父親だけの利用者も見られる。母親：5,779人（前年度比：1,066人増）、父親：567人（前年度比：49人減） （ファミリーサポートセンター） ・令和6年11月号の市の広報でファミサポ制度を紹介し、市民へ事業の周知を行った。 ・地域子育て支援センターにおいて救命講習を行うことで、夫婦や男性の参加促進に努めた（男性：4人）。 		
		課題	<p>（地域子育て支援センター）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支援を必要とする家庭などに対する、利用促進について検討する必要がある。 ・利用者アンケートで出された意見や要望（休日開設や一時預かり）などの利用者ニーズに沿ったサービスをどのように提供していくのか検討していく。 （ファミリーサポートセンター） ・共働き家庭などのニーズは高まっているが、ボランティアのなり手が不足しており、新規のおねがい会員数に比べ、まかせて会員数が伸び悩んでいる。 ・マッチングに苦慮するケースや会員登録はしているものの活動に至らない会員も多い。 		
	達成度	<p>Ⓐ:概ね達成できた B:達成には至らないが取り組み中 C:未実施</p>			
	本年度計画	<p><input checked="" type="checkbox"/> 継続 ・ <input type="checkbox"/> 統合 ・ <input type="checkbox"/> 拡充 ・ <input type="checkbox"/> 縮小 ・ <input type="checkbox"/> 廃止</p>			
本年度 計画内容	<p>（地域子育て支援センター）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・親子のひろばの開設日を第2・第4土曜日（9時～11時30分）から毎週土曜日（同時間）に拡充する。 ・出張ひろばを香我美おれんじ保育所、夜須こども園、野市東こども園（R7年度より実施）で行う。 （ファミリーサポートセンター） ・社会福祉協議会と協働し、地域のまちづくり協議会等で事業の周知を行うなど、まかせて会員の確保に努める。 				
具体的な取組③		保育施設の受け入れ枠の拡大や低年齢児保育、病後児保育など、多様な保育サービスの提供に努めます。			
個 表 番 号 39	各課の取組	保育施設の受け入れ枠の拡大や低年齢児保育、病後児保育など、多様な保育サービスの提供に努める。	課名	こども課	
	前年度 事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・一時預かり保育を香我美おれんじ保育所、赤岡保育所、夜須こども園で実施した。 ・預かり保育を公立幼稚園全園で実施した。 ・土曜預かり保育を公立幼稚園全園で実施した。 ・病後児保育事業を総合子育て支援センター「にこなん」で実施した。 			
		成果	市立の全幼稚園で預かり保育を実施し、幼稚園に通う児童の保護者の就労その他の活動支援につながっている。		
		課題	野市地区の人口増により希望施設への入所が難しくなっている。また、全国的な保育士不足のなか、保育士の処遇改善や働きやすい環境づくりに努め、保育士の確保を行っていく必要がある。		
	達成度	<p>Ⓐ:概ね達成できた B:達成には至らないが取り組み中 C:未実施</p>			
本年度計画	<p><input checked="" type="checkbox"/> 継続 ・ <input type="checkbox"/> 統合 ・ <input type="checkbox"/> 拡充 ・ <input type="checkbox"/> 縮小 ・ <input type="checkbox"/> 廃止</p>				
本年度 計画内容	<ul style="list-style-type: none"> ・香我美おれんじ保育所、夜須こども園で一時預かり保育事業を実施する。 ・就労等家庭の保育ニーズに対応するため、幼稚園での預かり保育を継続して実施する。 ・令和7年4月から野市東保育所と野市東幼稚園を統合して「野市東こども園」を開園し、乳児の受け入れ枠を拡大する。また、早朝の受け入れ時間を30分早めて午前7時から行う。 				

具体的な取組④		放課後児童クラブ及び放課後こども教室を実施するとともに、児童クラブ支援員の確保やニーズに合ったサービスの充実に努めます。	
個 表 番 号 40	各課の取組	放課後児童クラブ及び放課後こども教室を実施する。	課名
	前年度 事業実績	【児童クラブ：12か所】R6.4.1現在 ※下の数字は、実施日数/登録児童数。()内はR5年度の実績。 ・野市小第一児童クラブ：250日/48人(249日/43人) ・野市小第二児童クラブ：248日/35人(250日/33人) ・野市小第三児童クラブ：250日/49人(250日/44人) ・野市小第四児童クラブ：249日/46人(250日/43人) ・佐古小第一児童クラブ：250日/45人(249日/42人) ・佐古小第二児童クラブ：250日/41人(250日/41人) ・野市東小第一児童クラブ：250日/29人(250日/28人) ・野市東小第二児童クラブ：250日/42人(250日/38人) ・若杉児童クラブ：249日/16人(248日/14人) ・コスモス第一学童クラブ：242日/36人(240日/42人) ・コスモス第二学童クラブ：250日/40人(251日/45人) ・夜須はーと児童くらぶ：246日/29人(245日/44人)	
		【こども教室：3か所】R6.4.1現在 ※下の数字は、実施日数/登録児童数。()内はR5年度の実績。 ・野市小学校放課後子ども教室(スマイル)：31日/28人(87日/56人)※R6.11.12から再開 ・岸本地区放課後子ども教室(めだか)：138日/5人(141日/5人)※R7.3.31付で利用者減のため閉室 ・吉川小学校放課後子ども教室(うなお)：137日/37人(125日/28人)	
		成果	放課後、保護者が就労等により家庭にいない小学生の児童に対し、適切な遊びや生活の場を提供し、児童の健全な育成を図るとともに、保護者の仕事と家庭の両立支援に寄与することができた。
	課題	・利用希望者全員の受け入れができていない児童クラブがある。 ・児童クラブ支援員には、多様化する保育ニーズに対応できる資質が求められるため、県主催研修等への積極的な研修参加を促し、支援員の資質向上を図っていく必要がある。	
達成度	A:概ね達成できた B:達成には至らないが取り組み中 C:未実施		
本年度計画	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 ・ <input type="checkbox"/> 統合 ・ <input type="checkbox"/> 拡充 ・ <input type="checkbox"/> 縮小 ・ <input type="checkbox"/> 廃止		
本年度 計画内容	広報誌や香南テレビなどでの広報のみでなく、地域情報誌などの有料広告も活用し、児童クラブ支援員の確保に努めるとともに、ニーズに沿ったサービス拡大を検討する。		

具体的な取組⑤		各地区の在園児で、支援の必要な家庭の訪問などを実施します。		
個 表 番 号 41	各課の取組	家庭支援推進保育士を配置し、支援の必要な家庭の訪問などを実施します。	課名	
	前年度 事業実績	・家庭支援推進保育士を、赤岡保育所と吉川みどり保育所に配置し、家庭支援推進保育士を配置していない園は、所属長や副所属長、親育ち支援担当者が主となり家庭支援を行った。 ・朝夕の送迎時や家庭訪問などを通して、保護者と面談を行い、保育所と家庭での子どもの様子などを情報交換しながら家庭の状況や保護者の困り感を理解し、把握した。 ・担任や関係機関と連携し、園内で役割分担をして適切な配慮や支援を行った。		
		成果	・家庭環境に配慮した子どもの支援や保護者支援を行い、子育てに対する不安などを緩和し、子どもの健やかな育ちを促進することができた。 ・赤岡保育所、吉川みどり保育所では、それぞれの園の実態から重点取り組みを決め、年間を通して家庭への支援を実施し、日常生活における基本的な生活習慣の見直しに繋げることができた。	
		課題	・家庭支援推進保育士の配置の有無に関わらず、担任や担当のみの支援ではなく、園としての対応・支援となるための園内体制の強化を図る必要がある。 ・保育士不足の中で専任の家庭支援推進保育士を配置することが困難なため、各所園で工夫しながら事業を進める必要がある。 ・保育所のみでは対応できない課題が多いため、関係機関との連携を更に強化する必要がある。	
	達成度	A:概ね達成できた B:達成には至らないが取り組み中 C:未実施		
本年度計画	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 ・ <input type="checkbox"/> 統合 ・ <input type="checkbox"/> 拡充 ・ <input type="checkbox"/> 縮小 ・ <input type="checkbox"/> 廃止			
本年度 計画内容	家庭支援推進保育士を赤岡保育所と吉川みどり保育所に配置し、その他の保育所・幼稚園・こども園においても所属長や副所属長、親育ち支援担当者が主となり家庭支援推進保育事業を進めていく。			

具体的な取組⑥		ライフステージに合わせた各種料理教室などを開催します。		
個 表 番 号 42	各課の取組	ライフステージに合わせた各種料理教室などを開催する。	課名 生涯学習課	
	前年度 事業実績	夏休み遊トピア塾の植物標本づくり教室と新聞バック・工場見学は親子だけでなく家族で参加があった。また、伝承料理教室（焼肉夕しづくり教室・春のケーキ寿司教室等）には親子や夫婦での参加があった。		
		成果	親子17組と夫婦1組の参加があり、家庭等での手伝いや料理話しの話題づくりなどの成果につながることができた。	
		課題	料理系は3時間程度の教室で終了するが、音楽系や手芸系の教室等は複数回の参加が伴うため事業内容を検討する必要がある。	
	達成度	A:概ね達成できた B:達成には至らないが取り組み中 C:未実施		
本年度計画	<input type="checkbox"/> 継続 ・ <input type="checkbox"/> 統合 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 拡充 ・ <input type="checkbox"/> 縮小 ・ <input type="checkbox"/> 廃止			
本年度 計画内容	伝承料理教室等は会場を地区公民館に出張し、同じ教室を複数回することで参加の機会が増えるように実施する。			

基本目標	3 安心して多様な暮らし方ができるまちづくり
-------------	-------------------------------

推進方策	(1) 地域における男女共同参画を推進する				
取組の方向性	①地域活動への参画の促進				
具体的な取組①	さまざまな立場からの地域社会活動への参画を推進します。				
個表番号 43	各課の取組	男女が共に地域活動への参画ができる機会を増やすため、自治会、協議会の全地区設立を目指す。	課名	地域支援課、各支所	
	前年度事業実績	自治会や協議会への住みよい地域づくりに向けた補助金等の支援により活動が活性化され、防災や美化活動など男女が共に参画し、それぞれが団体を支える役割を担っていくことができた。			
		成果	自治会や協議会への住みよい地域づくりに向けた補助金等の支援により活動が活性化され、防災や美化活動など男女が共に参画し、それぞれが団体を支える役割を担っていくことができた。地区担当職員と連携しながら、設立説明会等を実施した。集落支援員を雇用し未設立地区への訪問を行い、現状や課題等の聞き取りを行った。(7年度に野市町に尾島自治会が設立)自治会、協議会の紹介については市広報誌へ4記事を掲載し、広報した。個別のPRについては未設立地区2地区へ、防災とまちづくりを関連付けて、子どもの見守りや災害時に助け合えるつながりの重要性を説明した。 ・自治会組織率92.6% (88/95) 協議会組織率57.9% (11/19)		
		課題	地域のつながりや活動の活性化に向け、自治会・協議会が設立できていない地区への設立支援及び、設立済み自治会・協議会については、各団体に応じた活動活性化への支援を行う必要がある。		
	達成度	A:概ね達成できた B:達成には至らないが取り組み中 C:未実施			
本年度計画	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止				
本年度計画内容	男女が共に地域活動への参画ができる機会を増やすため、未設立地域の自治会、協議会の設立をめざすとともに、設立済み自治会などの活動継続に向けた支援に引き続き取り組む。				

具体的な取組②	男女がともに地域を構成する一員としての自覚を持ち、地域環境保全活動に主体的に参加する意識を高めます。			
個表番号 44	各課の取組	環境監視員の人材確保も含め女性の参画を図りながら、監視パトロールを実施する。	課名	環境対策課
	前年度事業実績	・香南市環境監視員5名(内女性1名)で市内各地域の不法投棄箇所等のパトロールを実施した。 →毎月第3火曜日の午前中に2班に分かれ、年間12日(定期活動日)行い、延べ24回実施した。 ・パトロールに使用する公用車2第二「不法投棄監視パトロール中」のマグネット看板を張り、過去に不法投棄された現場等の巡回を行った。 ・環境監視員は「不法投棄パトロール」と記した帽子を被って実地確認を行い、女性を含む環境監視員の活動周知、不法投棄帽子の啓発を行った。		
		成果	男女の環境監視員によるパトロールを実施することで、環境問題について男女がともに関わらなくてはならない事柄であることを地域にお知らせすることができた。	
		課題	地域の環境状況を把握し保全活動に関心を持つ人材を確保する必要がある。	
	達成度	A:概ね達成できた B:達成には至らないが取り組み中 C:未実施		
本年度計画	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止			
本年度計画内容	人材確保も含め監視パトロールを継続して実施する。			

取組の方向性	②防災分野での男女共同参画の拡大			
具体的な取組①	自主防災組織等の活動において、女性の参画を推進します。			
個表番号 45	各課の取組	自主防災組織等の活動において、女性の参画を推進する。	課名	防災対策課
	前年度事業実績	香南市総合防災訓練や避難所運営訓練及び市民防災研修等において、参画を依頼した。		
		成果	香南市総合防災訓練において地域の女性が主体である日赤奉仕団により、炊き出し活動ができた。また、避難所運営訓練や市民防災研修等においては半数以上が女性だった。	
		課題	女性が意見を積極的に発言できる環境を確保する必要がある。	
	達成度	A:概ね達成できた B:達成には至らないが取り組み中 C:未実施		
本年度計画	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止			
本年度計画内容	各種訓練への女性参加範囲の更なる拡大に取り組む。			

推進方策		(2) あらゆる人の安心を支える			
取組の方向性		①貧困など困難を抱える人（ひとり親家庭等）への支援			
具体的な取組①		ひとり親家庭等に向けた医療費助成や自立支援などを実施します。			
個 表 番 号 46	各課の取組	児童扶養手当の支給及びひとり親家庭などに向けた医療費助成を実施する。	課名	市民保険課	
	前年度 事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・児童扶養手当の支給 ・ひとり親家庭などに向けた医療費助成を実施 			
		成果	児童扶養手当の支給及び医療費を助成することにより、ひとり親世帯の生活の安定と福祉の向上につなげることができた。		
		課題	窓口での相談に応じ、必要な支援の窓口につなげられるよう、ひとり親家庭等に関する制度についての知識を習得し関係各課との連携を密にする必要がある。		
	達成度	A:概ね達成できた B:達成には至らないが取り組み中 C:未実施			
本年度計画	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 ・ <input type="checkbox"/> 統合 ・ <input type="checkbox"/> 拡充 ・ <input type="checkbox"/> 縮小 ・ <input type="checkbox"/> 廃止				
本年度 計画内容	ひとり親家庭を対象とした制度を広く知っていただくため、広報誌やホームページなどを活用して制度の周知を行う。				
個 表 番 号 47	各課の取組	ひとり親家庭自立支援事業費補助金や高知県母子父子寡婦福祉資金等の活用により、ひとり親家庭の自立支援に取り組みます。	課名	福祉事務所	
	前年度 事業実績	ひとり親家庭などの自立支援として高知県母子父子寡婦福祉資金貸付事業（7件）、自立支援教育訓練給付事業（給付：1件、申請：1件）、高等職業訓練促進給付事業（相談：1件、給付：0件）を実施した。			
		成果	高知県母子父子寡婦福祉資金貸付事業、自立支援教育訓練給付事業、高等職業訓練促進給付事業によるひとり親への自立支援につなげることができた。		
		課題	相談者の生活設計などを踏まえ、制度の活用について案内する必要がある。		
	達成度	A:概ね達成できた B:達成には至らないが取り組み中 C:未実施			
本年度計画	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 ・ <input type="checkbox"/> 統合 ・ <input type="checkbox"/> 拡充 ・ <input type="checkbox"/> 縮小 ・ <input type="checkbox"/> 廃止				
本年度 計画内容	高知県母子父子寡婦福祉資金貸付事業、自立支援教育訓練給付事業、高等職業訓練促進給付事業を継続して実施する。				
取組の方向性		②困難な状況におかれている女性への支援【困難女性支援基本計画】			
具体的な取組①		月経トラブルをはじめ、性差によってさまざまな困難を抱える女性に対し、解決に向けた支援や困難の解消に向けたサポートを行います。			
個 表 番 号 48	各課の取組	公共施設のトイレで、相談窓口を記載したカードを同封した生理用品（個包装）の無料配布を行う。	課名	人権課	
	前年度 事業実績	女性の活躍支援（生理の貧困）事業を4月～10月末まで実施した。 【内容】相談窓口を記載したカードを同封した生理用品（個包装）を市役所本庁舎1～3階			
		成果	相談窓口を記載したカードを同封していたが、人権課への相談はなかった。		
		課題	生理用品には相談窓口の記載があるが、相談につながったのか、相談件数がどのように変化したのかを把握することができない。		
	達成度	A:概ね達成できた B:達成には至らないが取り組み中 C:未実施			
本年度計画	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 ・ <input type="checkbox"/> 統合 ・ <input type="checkbox"/> 拡充 ・ <input type="checkbox"/> 縮小 ・ <input type="checkbox"/> 廃止				
本年度 計画内容	県の事業も終わり、予算計上が難しいため、実施予定なし。				

取組の方向性		③高齢者や障害のある人、外国人市民への支援		
具体的な取組①		高齢者が健康で充実した生活を送ることができるよう、自立支援に対するサービスや生きがいづくりに向けたさまざまな支援を行い、介護者の負担軽減を図ります。		
個 表 番 号 49	各課の取組	高齢者が健康で充実した生活を送ることができるよう、介護予防事業等の充実を図る。	課名	高齢者介護課
	前年度事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 認知症施策推進事業：認知症カフェの開催 5カ所(直営：1カ所 委託：3カ所 家族会主催：1カ所) うちR6年度新規開設：2カ所 開催回数：82回、参加者数(延)：1,095人 認知症の方とその家族を対象とした集いの場「認知症カフェ」の開催と、委託カフェに参加し認知症に対する相談や助言を行った。 在宅福祉事業：介護用品の支給：支給者41人(男性19人、女性22人) 要介護3以上に該当する非課税世帯の高齢者を、在宅で介護している非課税世帯の介護者に対し、紙オムツ等の介護用品を支給し在宅介護負担軽減を図った。 介護予防事業 楽習広場、運動啓発事業をNPO法人こうなんスポーツクラブに委託、お達者教室は社会福祉協議会に委託、いきいきクラブ事業は地域の36地区で実施し、いきいきクラブ活動費補助金として活動費の一部を補助。 楽習広場(月1回) 延276人参加 実人数(男性：3人、女性：32人) お達者教室 2会場で実施 延2,437人参加 実人数(男性：0人、女性：63人) 		
	成果	<ul style="list-style-type: none"> いきいきクラブでは、新規メニューの紹介や、フレイル予防の健康教育を行い、地域での活動が継続できるよう支援を行うことができた。お達者教室や楽習広場においては、参加者らの生活状況や身体状況の評価をして、健康教育に活かすことができた。 要介護状態になっても、維持・改善を図り、在宅での介護用品支給や介護手当により負担軽減を行うことができた。 		
	課題	<ul style="list-style-type: none"> 介護予防の取り組みへの理解と周知徹底が必要であり、高齢期前からの生活習慣の見直しやフレイル予防の普及啓発する必要がある。 世代を通じた介護予防への取り組み支援体制の整備を行う必要がある。 直営カフェが家族の集まりとなっており、認知症の方の参加出来る場が少ない。 		
	達成度	A:概ね達成できた B:達成には至らないが取り組み中 C:未実施		
	本年度計画	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 ・ <input type="checkbox"/> 統合 ・ <input type="checkbox"/> 拡充 ・ <input type="checkbox"/> 縮小 ・ <input type="checkbox"/> 廃止		
本年度計画内容	<ul style="list-style-type: none"> 男性及び前期高齢者の加入促進と地域の支援者育成に組み込み、男女ともに生きがいや健康づくりを通して地域で活動できる場の確保を図る。また、フレイル予防の視点を取り入れ、事業評価や活動支援を行っていく。 認知症の方も参加できる場をサービス事業所等に打診し、新たな認知症カフェを展開していく。 			
個 表 番 号 50	各課の取組	高齢者や家族の相談窓口の設置、高齢者世帯などの実態把握に努める。	課名	高齢者介護課
	前年度事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者やその家族への訪問及び実態把握を実施した。 要介護認定者(介護度1～5)で、介護保険サービス未利用者や健診・医療・介護サービスいずれも未利用の後期高齢者へ訪問し実態調査と必要なサービスにつなげる支援を実施した。 高齢者の身近な相談窓口である民生委員や社会福祉協議会と協議する機会をもち連携を図った。 認知症カフェを開催し、介護をしている家族が集まり不安や悩みを話し合える機会をもった。 		
	成果	高齢者やその家族、介護者への相談対応や情報提供が実施できた。		
	課題	既存の介護及び福祉サービスを知らない場合が多い為、情報提供の充実を図る必要がある。		
	達成度	A:概ね達成できた B:達成には至らないが取り組み中 C:未実施		
	本年度計画	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 ・ <input type="checkbox"/> 統合 ・ <input type="checkbox"/> 拡充 ・ <input type="checkbox"/> 縮小 ・ <input type="checkbox"/> 廃止		
本年度計画内容	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者やその家族への訪問及び実態調査の実施をする。(継続) 要介護認定者(介護度1～5)で、介護保険サービス未利用者や健診・医療・介護情報のない後期高齢者に対する実態調査の実施をする。(継続) 社会福祉協議会の地域支援員及び生活支援コーディネーター、民生委員らとによる情報共有及び高齢者見守り活動の実施をする。(継続) 市民向け情報提供活動(広報誌、チラシ配布、ホームページ、香南ケーブルテレビ)の実施をする。(拡充) 			

個 表 番 号 51	各課の取組	いきいきクラブ事業や自主運動グループ、高齢者クラブなどを実施する。	課名	高齢者介護課
	前年度事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な地域で気軽に集い、生きがいや健康づくりの取り組みができる場として、いきいきクラブ事業や自主運動グループ、高齢者クラブ事業などを実施した。女性の参加が多く、地域のボランティアなどの役割を担っている。 ・高齢者クラブについては、男性の代表者が全体の約7割を占めている。 【いきいきクラブ事業】 ・実施会場数 合計：36 赤岡町1 香我美町8 野市町16 夜須町8 吉川町 3 【自主運動グループ】 ・実施会場数 合計：29 赤岡町1 香我美町4 野市町14 夜須町 9 吉川町 1 【高齢者クラブ】 単老数(単位老人クラブ数) 合計：20 赤岡町8 香我美町0 野市町11 吉川町1(※夜須地区は、高齢者クラブ連合会で活動している。)		
	成果	【自主運動グループ、いきいきクラブ】 ・地域住民主体の活動継続ができるよう、新規メニューの提案や活動のフォロー、利用者の身体状況や生活状況の評価結果に基づく健康教育ができた。また、各地区への支援回数を増やし、運営支援を行うことができた。 ・地域活動へのボランティア育成と活動体制整備が図ることができた。		
	課題	参加者、ボランティアともに高齢化が進み、活動継続が困難な地区もあり、地域の担い手の育成、参加者主体の持続可能な仕組みづくりを行うことが課題となっている。		
	達成度	A:概ね達成できた B:達成には至らないが取り組み中 C:未実施		
本年度計画	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 ・ <input type="checkbox"/> 統合 ・ <input type="checkbox"/> 拡充 ・ <input type="checkbox"/> 縮小 ・ <input type="checkbox"/> 廃止			
本年度計画内容	<ul style="list-style-type: none"> ・いきいきクラブ事業を継続して実施する。 ・介護予防の視点をより重視した取り組みを地域の活動の中で継続し、男性を含め新規参加者の加入促進と、参加者主体の活動支援、ボランティアの育成支援を推進する。 ・自主運動グループの活動継続支援を行う。 ・自主運動グループ同士の情報交換や活動報告を継続しながら、地域での運動習慣や体づくりを推進する。 ・男女ともに生きがいや健康づくりを通じて地域で活動できる場の確保を図る。 			

具体的な取組②				
障害のある人が住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、各種福祉サービス等の充実を図るとともに、介助者の負担軽減も図ります。				
個 表 番 号 52	各課の取組	障害のある人が住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、各種福祉サービス等の充実を図る。	課名	福祉事務所
	前年度事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・地域活動支援のため障害のある方等が通い、創作的活動や日中活動を提供する地域活動支援センター事業を実施した。 ・障害のある方やその保護者等からの相談に応じるとともに必要な情報提供等を行う。 ・障害のある人が自立した日常生活や社会生活を送ることができるように地域生活支援事業及び障害福祉サービスを実施する。 		
	成果	障害者の生活支援につなげることができた。		
	課題	相談内容や支援内容も多様化しており、対応できる人材の確保や障害者の居場所等生活支援について支援機関との連携を行う必要がある。		
	達成度	A:概ね達成できた B:達成には至らないが取り組み中 C:未実施		
本年度計画	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 ・ <input type="checkbox"/> 統合 ・ <input type="checkbox"/> 拡充 ・ <input type="checkbox"/> 縮小 ・ <input type="checkbox"/> 廃止			
本年度計画内容	前年度に引き続き事業を実施し、障害者の日中活動の場として他機関と連携しながら障害者等の地域の生活を支援していく。			

取組の方向性		④性的少数者への支援			
具体的な取組①		性的少数者への差別や偏見をなくすため、啓発を行うとともに、性別等に関わる悩みや問題を抱える方に、相談体制を周知し、情報の提供に努めます。			
個 表 番 号 53	各課の取組	性の多様性に関する理解を深めるための講演会等を実施する。	課名	人権課	
	前年度 事業実績	<p>○多様な性についての職員研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「性的マイノリティについて考える」研修を令和7年1月29日に開催した。 <p>○広報誌</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広報誌6月号に「プライド月間」の記事を掲載した <p>○本庁舎にてプログレス・プライドフラッグを掲揚した（掲揚期間：6月1日～6月30日）</p> <p>○パネル展トランスジェンダーのリアル</p> <p>日時：令和6年6月3日（月）～6月28日（金）</p> <p>場所：本庁舎2階情報コーナー</p>			
		成果	職員と市民に対して、性の多様性に関する理解を深めることができたり、周知することができた。		
		課題	多様な人権課題がある中で、性の多様性に関する講演会や職員研修を毎年度実施することが難しい。		
	達成度	A:概ね達成できた B:達成には至らないが取り組み中 C:未実施			
本年度計画	<input type="checkbox"/> 継続 ・ <input type="checkbox"/> 統合 ・ <input type="checkbox"/> 拡充 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 ・ <input type="checkbox"/> 廃止				
本年度計画内容	広報誌や市のSNS等を活用して、性の多様性に関する情報を発信する。				
個 表 番 号 54	各課の取組	パートナーシップ宣誓制度の普及・啓発を行う。	課名	人権課	
	前年度 事業実績	各課窓口で、にじいろのまちミニのぼりの設置を継続した。			
		成果	各課窓口にて、にじいろのまちミニのぼりの設置を継続することはできたが、啓発物の作成や講演会などは行えていない。		
		課題	企業へのパートナーシップ宣誓制度の周知において、香南市企業等人権問題連絡協議会の新規会員が見込みず、地域への波及効果が頭打ちとなっている。		
	達成度	A:概ね達成できた B:達成には至らないが取り組み中 C:未実施			
本年度計画	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 ・ <input type="checkbox"/> 統合 ・ <input type="checkbox"/> 拡充 ・ <input type="checkbox"/> 縮小 ・ <input type="checkbox"/> 廃止				
本年度計画内容	<ul style="list-style-type: none"> ・香南市企業等人権問題連絡協議会の会員企業や各課窓口で、にじいろのまちミニのぼりの設置を継続する。 ・ポスター、チラシ等で引き続き周知を行う。 ・香南市企業等人権問題連絡協議会の会員を増やすため、企業訪問や商工会に働きかけを行う。 				
具体的な取組②		性的少数者に配慮した相談支援が行えるよう、市職員や保育士、教職員などの理解促進を図ります。			
個 表 番 号 55	各課の取組	性の多様性に関する職員研修を実施する。	課名	人権課	
	前年度 事業実績	<p>日時：令和7年1月29日（水）</p> <p>演題：性的マイノリティについて考える</p> <p>講師：NPO団体 レインボー高知 代表 宮田真さん</p>			
		成果	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度に引き続き職員研修会を実施できた。 ・アンケート回答では、初めて知る言葉や性的マイノリティに関する学びが多くあったなど、職員の人権意識が向上した。 <p>また、子育て中の職員からは、子どもの指向や考え方を柔軟に関わりたいという変化も見られた。</p>		
		課題	「性的指向・性自認」は、人権課題の11の柱の中の一つである。ほかの人権課題についての職員研修も企画する必要があるため、毎年実施するのか検討する必要がある。		
	達成度	A:概ね達成できた B:達成には至らないが取り組み中 C:未実施			
本年度計画	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 ・ <input type="checkbox"/> 統合 ・ <input type="checkbox"/> 拡充 ・ <input type="checkbox"/> 縮小 ・ <input type="checkbox"/> 廃止				
本年度計画内容	本年度も研修会を実施する。				

推進方策		(3) 生涯を通じてからだところの健康を維持する		
取組の方向性		①妊娠・出産における保健医療対策の充実		
具体的な取組①		妊娠・出産における健康支援の充実を図ります。		
個表番号 56	各課の取組	妊娠・出産における健康支援の充実を図る。	課名 健康対策課	
	前年度事業実績	○妊産婦健康診査等 ・妊婦一般健康診査受診票（妊婦14枚） 令和6年2月～令和7年1月診療月分 延2,222件 ・産婦健康診査受診票（産婦2枚） 令和6年2月～令和7年1月診療月分 延357件		
		成果	・母子健康手帳の交付時に全数面接を行い、定期的受診の必要性の周知を図るとともに、必要時医療機関への繋ぎや連携を図ることができた。 ・産婦健診の結果、地区でのフォローの必要な方は早めに医療機関より情報を共有させていただき、特にメンタルのフォローなど早めの介入につなげることができた。	
		課題	産後の心身の不調や子育てでの相談に早期に対応できるよう、さらなるサービス事業所の拡充を行う必要がある。	
	達成度	A:概ね達成できた B:達成には至らないが取り組み中 C:未実施		
本年度計画	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 ・ <input type="checkbox"/> 統合 ・ <input type="checkbox"/> 拡充 ・ <input type="checkbox"/> 縮小 ・ <input type="checkbox"/> 廃止			
本年度計画内容	産後ケア事業では契約事業所を増やしたり、事業所の人員体制の拡充を図る			

取組の方向性		②適切な性教育の推進		
具体的な取組		市広報誌やホームページなどの媒体を通じて、性と生殖に関する健康と権利（リプロダクティブ・ヘルス/ライツ）や、HIV等の感染症についての情報提供と感染予防の啓発を行います。また、学校における性教育についても計画的に行います。		
個表番号 57	各課の取組	小中学校における性教育などを推進する。	課名 学校教育課	
	前年度事業実績	市内全ての小中学校が、教科書・副読本・冊子・リーフレット・ビデオ教材、その他資料を使い、理科、体育・保健体育科、特別活動などの教科等の授業やその他教育活動の中で、性教育に関する学習を計画的に行った。		
		成果	「令和6年度保健教育に関する指導外部講師派遣事業」を活用した学校や学年が多くなり、児童生徒が性に関する専門知識を有する外部講師から、性に関する科学的知識や自他の心身の健康を守るためにできることを学ぶ機会が充実した。（「性に関する教育」実施校：3校⇒5校、実施学年：5学年⇒9学年） 各校の報告から、保健教育の一層の充実が必要であるという教員の認識が深まったことが伺えた。	
		課題	学習したことが命や自他を尊重した行動選択や意思決定ができる態度を育成することにつながっているか、検証ができていない。	
	達成度	A:概ね達成できた B:達成には至らないが取り組み中 C:未実施		
本年度計画	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 ・ <input type="checkbox"/> 統合 ・ <input type="checkbox"/> 拡充 ・ <input type="checkbox"/> 縮小 ・ <input type="checkbox"/> 廃止			
本年度計画内容	各学校で児童生徒の実態を踏まえた指導の実践となっているのか、ヒアリング等で調査し把握するとともに、関係機関と連携を図りながら指導内容の更なる充実を図る。			

取組の方向性		③生涯にわたる健康の保持増進		
具体的な取組		各種健診、特定保健指導、保健指導（健康増進法）、各種教室を実施します。		
個表番号 58	各課の取組	特定健診とがん検診のセット検診を実施する。	課名 健康対策課	
	前年度 事業実績	特定健診 対象者…4,747人 受診者数 男性 656人 女性 806人（R7.2月末現在） 健康診査（20～30代） 受診者数 男性 26人 女性 42人 胃がん検診 対象者…21,188人 受診者数 男性 588人 女性839人 大腸がん検診 対象者数…21,188人 受診者数 男性 970人 女性 1,571人 肺がん検診 対象者数…21,188人 受診者数 男性 1,734人 女性 2,464人 健診結果説明会 開催回数 6回 参加者数 男性 11人 女性 70人 家庭血圧測定者 記録提出者数 男性 8人 女性 4人		
		成果	<ul style="list-style-type: none"> ・特定健診は、AIを活用した受診勧奨を行うことで、受診率が上がった。 ・秋より健（検）診のWEB予約を開始し、受診しやすい体制整備を行った。 ・家庭血圧測定記録提出者数は年々減少しているが、特定健診時に啓発をすることで自己管理している人が増えていることが要因である。 ・家庭血圧を測定することで、日頃の血圧を把握・意識することにつながっている。家庭血圧測定結果により医療受診に繋がる方もおり、発症および重症化予防の取り組みとなっている。 ・健診結果説明会は、日頃の生活習慣の見直しとともに、運動（ウォーキング）の推進にも繋げることができた。 	
		課題	更なる受診率の回復を図る必要がある。	
		達成度	A:概ね達成できた B:達成には至らないが取り組み中 C:未実施	
本年度計画	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止			
本年度 計画内容	<ul style="list-style-type: none"> ・受診しやすい健診体制づくり〔個別健診受診率を伸ばす〕 集団健診…WEB予約・健診会場デジタル化・セット健診・休日健診 個別健診…県モデル事業（R6～R7年度）受診勧奨ハガキを通知し個別健診を促進 ・健診結果から医療受診へつなぐ〔重症化を予防する〕 精密検査・要医療者への受診勧奨（通知・連絡） ・内臓脂肪に着目した保健指導の実施〔血圧・血糖の有所見者を減らす〕 			